# 四万十町 窪川地域　一斉避難所開設訓練

# 実施要領

令和８年 11 月 29 日（日）

四万十町自主防災組織連絡協議会 窪川支部

四万十町 危機管理課

# 訓練当日のスケジュール

1.避難所開設訓練【 令和 8 年 11 月 29 日（日）9:00 から 】

9:00～　　訓練開始の放送

危機管理課よりお知らせです。只今より、窪川地域一斉避難所開設訓練を行います。訓練放送ですのでお間違いのないようにお願いします。

（サイレン）

大地震です。ただちに身の安全を確保し、揺れがおさまりましたら避難を開始してください。これは訓練です。

繰り返します。大地震です。ただちに身の安全を確保し、揺れがおさまりましたら避難を開始してください。これは訓練です。

以上、危機管理課より窪川地域一斉避難訓練の訓練放送を終わります。

9:30～10:30　避難所開設訓練

10:30～10:45　振り返り

2. 訓練終了 【11:00】

11:00～　　訓練終了の放送

危機管理課よりお知らせです。ただ今の時間を持ちまして、窪川地域一斉避難所開設訓練を終了します。皆様方のご協力誠にありがとうございました。（繰り返し）

## １．訓練の目的

避難所と四万十町災害対策本部が連携した防災訓練を実施することにより、四万十町の防災体制の強化を図る。

訓練を通じて地域住民の連携強化と防災意識・防災行動力の向上を図り、今後の活発な防災活動のきっかけ作りとする。

また、避難所運営のフェーズに移行するにあたり、これまで訓練を重ねてきた、開設部分の現状確認を行う。

## ２．訓練実施日時・場所

訓練日：令和８年 11 月 29 日（日）

時　間：９時00 分～11 時 00 分

場　所：窪川地域　2次避難所

1. 農協会館避難所
2. 窪川小学校避難所
3. 窪川中学校避難所
4. 若井川小学校避難所
5. 口神ノ川小学校避難所
6. 旧丸山小学校避難所
7. 川口小学校避難所
8. 家地川地域活性化拠点施設避難所
9. 七里小学校避難所
10. 米奥小学校避難所
11. 仁井田小学校避難所
12. 影野小学校避難所
13. B&G 海洋センター避難所
14. 東又小学校避難所

## ３．訓練シナリオ

平日９時頃、土佐湾沖でマグニチュード9.0 の地震を観測、四万十町では最大震度７ の揺れを観測し、沿岸部には津波が襲来。多数死者・行方不明者アリ。四万十町内の広範囲で被害が生じ、2次避難所に多くの住民が押し寄せる。

## ４．訓練内容

各2次避難所で作成している、「避難所運営マニュアル」に沿って訓練を実施する。

❶ 防災倉庫から開設ボックスの取り出し

⇒開設ボックスを取り出し、各種様式を使用して、開設の準備を行う。

❷ 建物安全確認

⇒建物安全確認チェック表を活用し、外観を確認する。

⇒外観確認後、建物に異常が無ければ、内観をチェックする。

⇒内観チェック中に、各避難スペース表示板を教室等に貼る。

❸ トイレ使用可能確認

⇒トイレ使用可能確認チェック表を活用し、トイレが使用可能かを確認する。

❹ 受付（検温消毒・一般避難者受付・要配慮者受付）

⇒非接触型体温計を活用し、検温を実施

⇒一般避難者及び要配慮者の受付を作る

❺ 避難者の受け入れ開始

❻ 避難者を各スペースへ誘導

❼ 避難所開設状況及び避難者数の報告

⇒避難者の受け入れができた段階で、トランシーバーを使用して災害対策本部へ連絡を入れる。

避　　難　　所「〇〇小学校避難所、災害対策本部聞こえますか、どうぞ」

災害対策本部「災害対策本部です、〇〇小学校避難所、避難者数の報告をお願いします、どうぞ」

避　　難　　所「〇〇小学校避難所、避難者数は、男性〇〇人、女性〇〇人、計〇〇人です。どうぞ」

災害対策本部「〇〇小学校避難所の避難者数は男性〇〇人、女性〇〇人、計〇〇人ですね、これで訓練は終了です、片付けをして、解散してください、どうぞ」

避　　難　　所「了解しました」

## ５．当日の配役

当日の配役については、各避難所での実施方法にお任せいたします。準備会の段階で決めておくのか、当日来た人を見てお願いするのか等。

## ６．周知方法

幅広い住民に参加を促すため、以下の方法により訓練の周知を行う。

❶ ケーブルテレビ
❷ 四万十町ホームページ
❸ 区長文書（11 月上旬　全戸配布）
❹ 屋外スピーカー
❺ 四万十町公式 LINE